

親切にされて気づいたこと

鳥取県 岸本中学校 3年 下村 晶子

『東京は怖いところ』

あの体験をしていなかったら、今もこう思っていたと思います。

私たちの学校は4月13日からの三日間、修学旅行で東京へ行きました。初めての東京で、もうとても楽しくて、思い出に残る修学旅行でした。

しかし、困ったこともたくさんありました。二日目、私たちは班別エクスカーションで東京を回りました。事前に計画を立てていたのに、うまくいかないことばかりで、お店の場所がわからないという壁にぶつかりました。今思えば、近くの人に聞けばいいのに、このときの私たちは勇気が出ませんでした。初対面の人に話しかけるということではなかったと思います。ちょっと東京の人は怖いなと思っていました。でも、勇気を出して班長が近くを歩いていた人に話しかけてくれました。その方は、笑顔で答えてくれているようでした。なんだかとても嬉しかったです。

その後、何度も東京の方にはお世話になりました。なにかを聞いたとき、快く応えてくださった東京の方々を見ると、とても申し訳ない気持ちになりました。東京に行ったこともないのに、勝手に悪く思って、本当に申し訳なく思いました。

そう思っていたとき、電車のホームで外国人に道をたずねられました。学校でALTの先生以外、外国人と話すのは初めてで、緊張しました。でも、私はチャンスだと思いました。こうやって話して外国の方を助ける。それは、この申し訳ない気持ちを取り除いてくれるんじゃないかなと思いました。今考えれば変だけれど、私はそう思い、がんばって英語で話そうと思いました。地図がわからなかったり、ちゃんとした英語になっていなかったとは思いますが、伝えよう、伝えようと思いました。

最後に、伝わったかはわからないけれど、

“Thank you.”

と行ってくださったときは、嬉しかったです。みんなでがんばってよかったなと思いました。

よく芸能人がテレビで、

「東京も捨てたもんじゃない。」

と言うけど、それが身をもってわかりました。そして、自分は偏見の目をもっていたなと気づきました。いけないことだし、恥ずかしいことだなと思いました。

修学旅行は一生の思い出になりました。東京の人に親切にされて、嬉しかったです。本当に困っているときに親切にされ、多くの人に助けてもらいました。

この修学旅行を通して、人に親切にすることの大切さが改めてわかりました。親切にしてくださった人たちに感謝して、これから先、自分も感謝される人になります。